

ヨットに乗りたくてもなかなか乗りにお越し頂けない皆様にも最近のマリンボックス 100 ヨット LIFEの様子をお伝えしていきたいと思ひます。

7月のヨット LIFEの様子

梅雨が明け、一段と暑さが厳しくなつた7月。ようやく、6月までに比べればコンディションも安定してきて、出艇出来る日も増えてきました！YSA 逗子フリートのメンバーは、久々のヨットレースに気合が入りました！アドベンチャーアイランドオーナーさんは、相変わらず釣りが絶好調！ブラボーオーナーさんは、初めて奥様を連れてセーリング！そして、7月に入って、新しいヨットオーナーさんが4人マリンボックス 100でヨット LIFEを送ってくれることになりました！また、ヨットスクールも体験に来られる方やヨットを覚えて趣味にしていきたい方など、たくさんお申込みを頂きました。こうして、ヨットに興味を持ってくれること、そして、ヨットを今後の趣味として遊んでいってくれること、本当に嬉しいです！！8月も週末は全ての日程でレッスンが入っております。たくさんの方にヨットに乗って欲しいので8月はコンディションが安定してくれることを願うばかりです。

そんな願ひも不安な・・・月初から南風が強い日が続いています・・・また、台風6号も発生して、来週からお盆休みの方もいると思ひますが、影響しそうな感じですが・・・。

どんな8月になるか、楽しみです！

とりあえず、台風来るなあ～！！



YSA 逗子フリート
コンディション不良でレース中止が続き、久々のレース！



ワッショイ！ずしかいがんサマーフェスティバル 2023
市内の小学生にヨット体験してもらいました！



ヨットスクールは
平日週末関係なく7月は44件のレッスンが！多かつた！



ヨットオーナーさん
釣り好調！ご夫婦で！新しいメンバーさん！

ヨット“ワンポイント”講座!!

ヨット会員の皆様が出来ただけ安全にセーリング出来るよう、こんな場面の時はどうしたら良いのか、最近見かけた事例を参考に、こうしたら良いということを紹介していこうと思います。あくまで、私、渡邊の方法と考えなので、絶対ではないので参考程度にして下さい。図解がないので分かりにくいとは思いますが、イメージしてお読み頂けると幸いです。

「今回は雷に注意！です」

つい先日の火曜日、雨が降った日がありましたよね。

あの時、逗子では、13:00頃、北の空にあやしげな暗い雲が見え始め、徐々に吹いていた南風が北風に変わりました。その時、さすがに湾内には人の姿はほとんどなかったのですが、唯一、SUP4艇が湾の入り口あたりでこちらに向かって漕いでいるのが見えました。こちらに向かってはいるのですが、なかなか進んできません。その後、逗子湾内では白波が目立つくらいの北風の強風が吹き始めました。漕いでいたSUPは、どんどん沖へ流され、板も宙を舞っている状況。本当にあっという間の出来事でした。SUPは無事に救助され、事なきを得ましたが、その後は、雷がすごかったです。自分がヨットに乗っていたらと考えるととても恐ろしい状況でした。

日本では、最も多く雷が発生しているのがこの8月です。特に太平洋側がこの時期に多いと言われています。時間帯としては、午後から夕方にかけて雷が発生しやすくなります。

今回は、そんな雷が近づいてくる前兆のお話です。

正直、海上で雷に遭遇してしまったら有効な回避手段はないと思っていて下さい。

◆ 雷注意報が出たら、遠くにセーリングに行かない！

これが大前提です！雷の前兆を感じとったとして急いで陸に戻ろうと思っても、遠くへいたらなかなか陸に戻ってこれませんよね。先日の時のように北風強風になったらどうでしょうか。がんばってセイルを引き込んでクローズホールドで上って帰ってこようとしても、引き込めばオーバーヒールして沈しそうになるので、セイルを出しますよね。そうすると、今度は上り角度も取れず、とにかく帰って来るのに時間がかかります。注意報が出たら、遠くへはいかないようにしましょう！

1. 雷鳴

雨が降っていないときでも、雷鳴が鳴り響く場合があります。その雷鳴だけが聞こえるときは、おおむね10km圏内くらいで雷が既に発生している状態です。雲の動きがどのようになっているかによっても変わってきますが、だんだんと雷が近づいてくる可能性が高いです。

2. 黒い雲

もう一つ前兆として認識できるのが、空が黒い雲に覆われたときです。空が突然真っ黒になったと思ったら大雨が降りだした、なんていう経験がある方も多いのではないのでしょうか。これは積乱雲という大きな雲が空を覆うからであり、この雲は一般的には入道雲などとも呼ばれます。このように太陽の光を遮ってしまうほどの雲の下では雨や風が吹き荒れており、雷が発生しやすい環境でもあります。

3. 冷たい風

空が暗くなったあと、冷たい風が吹きヒヤッとすることがあります。この冷たい風が発生するのも積乱雲の影響であり、空が黒い雲に覆われるのと同様に雨や雷の前兆として認識することが可能です。冷たい風が吹いた後にはすぐに激しい雷雨が訪れることもあります。

このような前兆があった場合には、一旦、マリنبックス 100 前のビーチに着ける必要はありませんので、速やかにその時に一番近い陸に上がるようにして下さい。

前兆を感じ取った時点で、すでに落雷の危険域に入っていることを忘れないで下さい。

ディングーの場合は有効な回避手段が存在しないのが正直なところです。なるべく早く避難するしか確実に被害を防ぐ方法はありません。

マストに落ちないようにというところで、沈をさせる方法もありますが、雷は海にも落ちますので、付近の海面に落ちる可能性があります。もし、沈をさせて海に入っていると近くに落ちた雷によりショックを受け、溺れる可能性があります。(サーファーなどが雷で被害を受けたというのは、このような場合がかなりあるようです) その意味からは、艇の上に居た方が良いわけですが、その場合にも絶対に雷が落ちないとは言えず、もし落ちた場合には人体への直撃になりますので、まず助からないでしょう。そういった部分で、ディングーヨットで雷に遭遇してしまった場合には絶対に安全な方法がないということになります。

まとめ

- ① 雷注意報が出ている時は、遠くへのセーリングは控える。命を削ってまでしないように!
- ② 前兆(雷鳴・黒い雲・冷たい風)があったらすぐに一番近くの陸地に着け、ヨットから離れる。
- ③ 雷が落ち着くまで待機して下さい。
- ④ 海上で雷に遭遇してしまった場合、ディングーヨットでは100%安全な回避手段がないことを念頭に置いてセーリングして下さい。

今後も会員の皆様にお役に立てる情報をお伝えできればと思いますので、「いつもここが不安なんだけど、こういう時はどうしたら良いの?」などございましたら、渡邊宛にメール下さい! きっと、不安に思っていることは、他の皆さんも同じように思っていると思いますので、是非是非教えて下さい。ここでご案内させて頂きたいと思います。

～お知らせ～

- ◆ 8月の出入港時間は9:00～17:00となります。

会員様紹介 vol. 3-5 シーホッパーオーナーのUさんです！

4月よりヨット会員Uさんご協力のもとはじまりました、連載企画「タックしてみよう、その人生」。今回はその第5回です。2017年にヨットを始めてから、現在のヨットLIFEの過ごし方を綴って頂いています。



今回のお話は、Uさんがヨットを始めた今感じていることのお話です。

「第5回」

2022年10月はシーホッパー全日本選手権が江ノ島で実施された。そうあの東京オリンピックでも競われた海域。目標を立てると身体がよく動く、脳がそこに集中する。他のオープンレースにも参加してみたりもした。そして10月の本番、もちろん、結果は散々なものだったが、そこに立てたことに嬉しさを感じている。YSA 逗子フリートの皆さんと共に練習して指導頂き視野が広がる。

気がつくと5年目に差し掛かろうとしている。ユークリッドを出し抜く「近道」なんかまったくなかった。練習、練習！今は何の為に練習しているかと言われても答えられない。

ただ、楽しい、それだけ。地球が太陽の周りを回って四季が生まれる日本がある。いつのまにか5回も回ろうとしている。神奈川県には海がある。逗子に行くと自然に囲まれたビーチがある。仲間がいる。セイリングを楽しむ人々がいる。

それは逗子の近く、江ノ島でも材木座でも一緒、世界の海でも同じだろう。世界には同じ趣味を共有する人々がいる。その船の造りは違えども、その楽しさを享受する気持ちに違いはない、と信じて、今度は、海外でもセイリングしてみたい。

さて、尊敬するディンギー師匠は、マリロボックス100を今年2023年に退会する。シーホッパーも処分する。体力の限界というかもしれないが、ディンギー師匠よりもなおベテランでシーホッパーに打ち込む鉄人たちがYSA 逗子フリートには多くいる。自分は、その人たちに未だ追いつけない。人生は短くない。セネカの云うとおりだ！

今を充実して活路を見出す人々は確かに輝いている。セイリングの上手い下手の問題ではなく、打ち込む姿勢がカッコいい。ここに「憧れる」。果たして自分がその歳を迎えるとき、そのような姿勢でいられるだろうか。お手本となる大人たちをここで発見した。しかし、いつか自分も山口百恵のようにマイクを置く日が来るのだろうか？ ディンギーの師匠のようにシーホッパーに乗れなくなる時が来るのだろうか？横浜山下町のバーで落胆した。

～第5回終了～